

平成31年度予算見積調書

課室名: 防犯・交通安全課

担当名: 防犯事業担当

内線: 2945

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B73	犯罪被害者等支援体制の整備促進事業		一般会計	総務費	県民費	県民活動推進費	防犯のまちづくり推進費		
事業期間	平成30年度～平成34年度	根拠法令	犯罪被害者等基本法、犯罪被害者等支援条例		宣言項目				
					分野施策	020410 防犯対策の推進と捜査活動の強化			
1 事業概要			5 事業説明						
<p>犯罪被害者等が受けた被害の早期回復及び軽減を図り、再び平穏な生活を営むことができる社会の実現を図るため、次の事業を実施する。</p> <p>(1) 性犯罪被害者支援の充実強化 19,936千円 (2) 医療費公費負担事業(廃止し(1)へ編入) (3) 法律相談等公費負担事業(同上) (4) 市町村支援の強化 2,195千円 (5) 彩の国犯罪被害者ワンストップ支援体制機能強化事業 5,922千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 性犯罪被害者支援の充実強化 19,936千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイリスホットライン24時間365日対応 ・性犯罪被害者からのニーズが高いカウンセリング費用を新たに対象とするとともに、医師が性犯罪被害にかかる証拠採取を行うためのキットを医療機関へ配備 ・被害後の速やかな支援が被害の回復、軽減につながるため、周知広報を強化 ・夜間、性犯罪被害者の受け入れが可能な県内基幹6病院及び埼玉県看護協会の看護師を対象に、医療機関において支援を行う、性暴力被害者支援看護職(SANE)を養成 <p>イ 市町村支援の強化 2,195千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村総合的対応窓口の体制強化を図るため、研修、会議及び勉強会等の開催を強化 ・保育、介護、家事等の支援が必要な被害者等に対し、ケースごとに社会福祉協議会に委託し、生活支援を実施し、同結果を市町村にデータを提供して、市町村における生活支援実施を促す。 <p>ウ 彩の国犯罪被害者ワンストップ支援センターの機能強化 5,922千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ支援センターの代表電話を設置し、ワンストップサービス機能を向上 ・ワンストップ支援センターに県総合的対応窓口の機能を持たせ、窓口業務を援助センターに委託 ・ワンストップ支援センター主催で開催する県内最大規模の啓発イベント「犯罪被害者支援県民のつどい」を援助センターに委託 <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 相談電話・医療費・法律相談・ワンストップ委託 4月契約。援助センターにおいて延長相談業務の再委託。</p> <p>イ アイリス普及啓発 4月 啓発品企画、業者選定、随意契約(見積合わせ) 7月 高校へ配布、キャンペーン</p> <p>ウ 市町村研修等 4月、6月、8月、11月実施。</p> <p>エ 生活支援事業 4月 市町村説明会開催。社協研修4回。随時委託。3月 データ提供。</p> <p>オ 被害者支援週間行事 4月 協力依頼 9月～12月実施</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 性犯罪被害者のニーズに適した相談体制の整備によるセーフティネットとしての体制強化</p> <p>イ 市町村が犯罪被害者支援を行う上で必要なスキームを構築し、被害者ニーズに対しきめ細かな支援を実現</p> <p>ウ 電話番号の一本化により被害者の利便性向上とセンター内の連携を強化</p>						
2 事業主体及び負担区分									
<p>(1) (国1/2、県1/2) 但し、医療費公費負担分は(国1/3、県2/3) (4)、(5) (県10/10)</p>									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×4人=38,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	28,053	国庫支出金	9,674					18,379	16,395
前年額	11,658		3,886					7,772	